

彼方 「かなた」

校長通信
H24.10.18
Vol.26

【公開研究会での学び】

「自主的に課題解決する生徒の育成」

～全員がわかる、できる授業づくりを通して～

平成二十三年度、二十四年度我孫子市教育委員会研究指定校として「学力向上」の取り組みにつき、中村準教育長を始めとするご来賓の皆様をお招きし、公開研究会を開催いたしました。湖北中としては、本当に久しぶりの公開研究会になりました。

研究会資料の「はじめに」の中に公開に対する思いを載せましたので、ご一読ください。



（はじめに）
『平成二十三年度より二年間、我孫子市「学力向上研究推進校」の指定を受け、全職員一丸となって研究を進めてまいりました。本校の大きな課題のひとつとなっている基礎

「学力」を向上させることは、思考力や判断力、コミュニケーション力、そして一歩踏み出す意欲を育てていくことだと考えています。テストの点数のように目に見える基礎的な知識や技術の獲得は、一人で学ぼうとする意欲を身に着けさせることができれば、後からでも十分に伸びてくるはずで



私たちの求めている力は、可視化しにくい力でもあります。それでも研究成果を実感できるように可視化していかなければならないと考



的な知識・技能の習得を図るために、興味関心を高める授業を模索し、

ICT 機器を活用した授業づくりを推し進めました。今年度は、一年目の研究テーマを再

考し、生徒にどのような力を身に

に着けさせなければなら

いのかという根っここの部分

を見つめ直し、「自主的に課題

解決できる生徒の育成」～全員

がわかる、できる授業づくりを通し

て～としたのです。なぜなら、私たちが本

どもたちに身に着けさせたい「学力」は、

学校教育

目標「自主貢献 ～自ら適切に判断・行動し、助け

合える生徒～」を実現する力だからです。

で先生方に説明

し、全校集会や

朝礼、朝・帰

の会で生徒たち

に話し、保護者

会や学校通信、

ホームページ等

を使って保護者

の皆さんにお知

らせしてきまし

た。少なからず

「伝説の学校」

の研究が「学力

向上」だということは、共有できたように思います。

その後の先生方の覚悟には目を見張るものがあり

ました。学習課題を明確にし、学習形態を工夫し、

研究主任から出されるミッションをことごと

くクリアしてきました。生徒も先生方の変容を

実感し、一緒に授業を作ろうとする気持ちが伝

わってきました。「先生方が僕たちのために授

業をわかりやすくするように頑張ってくれて

います。僕たちも一生懸命授業に取り組んでい

きましょう。」という呼びかけに鳥肌がたちま

した。





のと考えます。

学校は、「誰かのために自分から考え、行動し、助け合って生きること」を勉強する場所である。教育は、「仲良く助け合って生きること」を教える育てることであり、勉強は教科や道徳、行事、部活動を通して、「どう行動すればよいか」を学ぶことであるということ、全職員が心にとどめ行動変容することとがこれからの研究成果となつて子どもたちの姿に現れてくるものと確信しています。』

教室を回ってみると、「今日の目標」の場所に大きな字で「〇〇先生を助けよう！」と書かれていました。なんだか温かい気持ちになりました。

えます。

学校って？教育って？勉強って？というシンプルな問いにしっかりと答え、実践に移し、行動できる生徒の育成に努めることが、学校教育目標を実現させ、「生きる力」を身に付けさせていくための最大の手立てとなるも

教務主任の羽場先生と後期の学級委員を集めて、お話をしました。「皆さんが学級の三月の

ゴールを目指して、最初に動き出す人たちです！先生方と協力していい学級・学年を作ろう！」という内容です。その上で、羽場先生から「黒板の使い方、教科連絡の方法を改善しよう！」というミッションを与えられました。その日の放課後、どの教室にも学級委員が働きかけた確かな足跡が見て取れました。これもうれしいことでした。

公開研究会は公開慣れしていないと本当に大変です。でもそれをひとつの目標にして頑張れば、必ず成果となって表れてきます。目に見える変化としての学校改善が図られてきます。

湖北中が変わるということは、先生や生徒が学んでいるということ、成長しているということ、授業や行事、部活動、委員会活動等どれもとつてもそのままでよいというものはありません。そういう意味では、より良くしようという変化が目に見えるのは、実に楽しいことです！

公開当日は、中村教育長をはじめ我孫子市教育委員会より高橋教育総務部長、直井学校教育課長、野口指導課長、石井教育研究所長にご来賓として



ご臨席いただきました。また、市内各校の校長先生や多くの小中学校、高校の先生方に参観していただきました。

「子どもたちの発表、すごくよかったです。」「挨拶してくれる生徒が沢山いてうれしくなりました。」「真剣に学習する姿が印象的でした。」「学び合いながらいろいろな意見が出ていたのはスゴイ！」「学校がまとまっている感じがしました。」「小学校でやっていることがつながっているのうれしかったです。」「研究発表と分科会での話し合いがものすごく勉強になりました。」等々、参観された多くの方々から生徒の頑張りや先生方の姿勢を認めていただきました。本当にうれしい限りです！心から感謝です。

湖北中学校で研究していることや目指していることが、子どもたちの「学び」になるように、地に足をつけた研究を進めていきたいと思ひます。

湖北中学校が伝説の学校に一步でも二歩でも近づけるよう更なる精進を続けていきたいと思ひます。

